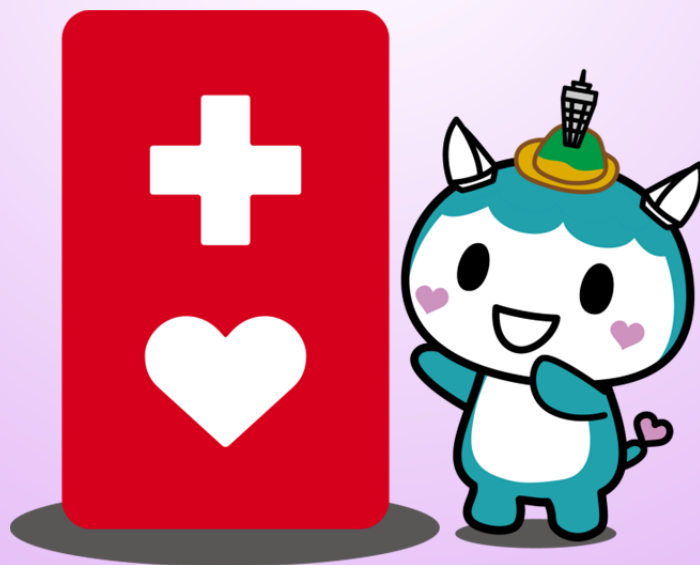


ふじさわ障がい者プラン 2026

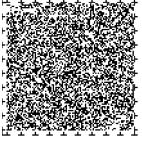
すべての人が、障がいの有無にかかわらず、
お互いに助け合い、自分らしく、生活できるまちへ

ふじさわ障がい者計画
第6期 ふじさわ障がい福祉計画
第2期 ふじさわ障がい児福祉計画

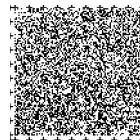


2021年（令和3年）3月

藤沢市



はじめに



藤沢市では、2018年（平成30年）3月に「ふじさわ障がい者プラン2020『きらり ふじさわ』中間見直し」を策定し、障がい福祉に関する課題を解決するため、さまざまな施策を展開してまいりました。

この間、国においては、2018年（平成30年）4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」及び「児童福祉法」の改正が行われ、障がい者が望む地域生活を実現するための支援の充実や、多様化する障がい児支援ニーズへのきめ細かな対応のため、障がい児の支援の拡充及び自治体における障がい児福祉計画の策定など、サービスの質の確保・向上に向けた環境整備が行われました。

2021年（令和3年）4月には、「支え手」「受け手」という関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を横断しつなぐことで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をめざした「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されます。

また、神奈川県では、津久井やまゆり園において発生した大変痛ましい事件が二度と繰り返されないよう2016年（平成28年）10月に「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定し、「ともに生きる社会」の実現に向けた施策を進めております。

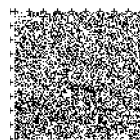
これらの動向を踏まえ、藤沢市では、「共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち」（インクルーシブ藤沢）をまちづくりのコンセプトとし、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して暮らし続けることができるよう、交流の場づくりや担い手づくりを推進するとともに、地域共生社会の実現に向けて重層的な支援体制を築き、多機関協働でのネットワークをより一層深めてまいります。

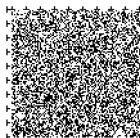
本計画書では、「ふじさわ障がい者計画」「第6期ふじさわ障がい福祉計画」「第2期ふじさわ障がい児福祉計画」を一体的に策定しており、取り組むべき施策の方向性や展開、具体的な事業・取組及び障がい福祉サービスや障がい児支援サービス等の見込み量について定めております。

今後は、計画推進に向け、庁内一体となって取り組むとともに、「すべての人が、障がいの有無にかかわらず、お互いに助け合い、自分らしく、生活できるまちへ」という基本理念のもと、障がい福祉施策を推進してまいります。

結びに、本計画書を策定するにあたり、熱心にご議論いただきました、障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会及び藤沢市障がい者総合支援協議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民並びに関係者の皆様へ、心より感謝申し上げます。

2021年（令和3年）3月
藤沢市長 鈴木 恒夫

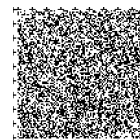




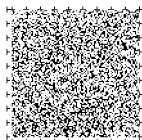
目次

はじめに

第1章 計画の概要	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置付け	3
3. 計画の期間	6
第2章 ふじさわ障がい者計画	7
1. 計画の考え方	7
(1) 計画の基本的な考え方	7
(2) 基本理念	8
(3) めざす社会像	9
(4) 課題の整理	10
(5) 基本目標	11
(6) 新計画のポイント	13
2. 本市障がい者の現状と今後の動向	14
(1) 本市障がい者手帳所持者数の推移	14
(2) 障がい者数の推計	23
3. 障がい者施策の課題	24
(1) 障がい者施策の課題抽出のプロセス	24
(2) 課題の整理	26
【課題1 個人の尊厳や権利に関すること】	26
【課題2 障がいのある人への支援に関すること】	30
【課題3 地域生活を支えるための支援に関すること】	39
【課題4 療育や教育に関すること】	46
【課題5 社会参加や活躍の支援に関すること】	51
【課題6 安心した日常生活を送るための基盤に関すること】	58
(3) 課題から基本目標へ	63
(4) SDGsの視点を踏まえた基本目標	64
4. 施策の方向性と展開	65
(1) 施策の設定について	65
(2) 施策の展開	67
基本目標1 尊厳を守り合う社会づくりの推進【共生の基盤づくり】	67
基本目標2 支援体制の強化【支援の基盤づくり】	70
基本目標3 地域での生活を支える支援の充実【日常生活の支援】	74
基本目標4 子どもの育ちを支える支援の充実【療育・教育等】	79
基本目標5 社会参加を支える支援の充実【参加・活躍の支援】	83
基本目標6 生活の安心を支える社会づくりの推進【安心の基盤づくり】	88



第3章 第6期ふじさわ障がい福祉計画	91
1. 第6期ふじさわ障がい福祉計画の基本的な考え方	91
(1) 位置付け	91
(2) 基本的な考え方	91
2. 地域共生社会づくりの目標値	93
(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行	93
(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築	94
(3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実	95
(4) 福祉施設から一般就労への移行等	96
(5) 相談支援体制の充実・強化等	99
3. 障がい福祉サービスの見込み量	100
(1) 訪問系サービス	100
(2) 日中活動系サービス	101
(3) 居住系サービス	104
(4) 相談支援	105
(5) 障がい福祉サービスの量と質の確保のための方策	106
4. 地域生活支援事業の見込み量	108
(1) 必須事業	108
(2) 任意事業	114
(3) 地域生活支援事業の量と質の確保のための方策	116
第4章 第2期ふじさわ障がい児福祉計画	119
1. 第2期ふじさわ障がい児福祉計画の基本的な考え方	119
(1) 位置付け	119
(2) 基本的な考え方	119
2. 障がい児支援の提供体制整備の目標	121
(1) 児童発達支援センターを中核とした重層的な支援体制の整備	121
(2) 保育所等訪問支援のサービス提供体制の強化	121
(3) 重症心身障がい児等へのサービス提供体制の強化	122
(4) 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置	122
3. 障がい児支援サービスの見込み量（令和3年度～令和5年度）	123
(1) 障がい児通所支援サービス	123
(2) 障がい児相談支援	124
(3) 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置	125
(4) 障がい児支援サービスの量と質の確保のための方策	125



第5章 計画推進のために	129
1. 計画の推進体制について	129
(1) 庁内における横断的な取組の推進	129
(2) モニタリング指標の設定とPDCAサイクルによる進行管理	129
(3) モニタリングの実施体制	130
(4) モニタリングの実施スケジュール	130
(5) 計画の進捗状況等の公表	130
資料編	131
1. 前計画の実施状況（平成30年度～令和2年度）	131
2. 第5期ふじさわ障がい福祉計画・第1期ふじさわ障がい児福祉計画の進捗状況	133
3. 計画策定体制	136
4. 障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会 委員名簿	137
5. 藤沢市障がい者総合支援協議会 委員名簿	139
6. 藤沢市障がい者総合支援協議会 設置要綱	141
7. 「ふじさわ障がい者プラン2026」策定経過	144
8. ヒアリング調査 実施概要	149
9. アンケート調査 実施概要	151
10. パブリックコメント（市民意見公募）の実施概要	153
11. 用語解説	156

本計画書をお読みになる前に

◆構成比について

各統計数値やアンケート結果については、原則として小数点以下第1位(第2位を四捨五入)までの百分比で表示しています。そのため、各項目の構成比を合算しても100%にならない場合があります。

◆音声コードについて

本計画書は、目の不自由な人などへ情報提供手段として、音声コードを貼付しています。音声コードとは、紙に記載された情報をデジタルに変える2次元シンボルです。印刷されている音声コードを読み取ることで、記録されている情報を音声で、点字プリンタと接続すれば点字で、パソコンに接続すればテキストで、出力することができます。

